

◎議案第46号 農用地の災害復旧について

○議長（山本浩平君） 日程第8、議案第46号 農用地の災害復旧についてを議題に供します。

提案の説明を求めます。

石井産業経済課長。

○産業経済課長（石井和彦君） それでは議の46-1をお開きください。議案第46号農用地の災害復旧について。

農用地の災害復旧について、土地改良法第96条の4第1項において準用する同法第88条第1項の規定により議会の議決を求める。

平成27年2月23日提出。白老町長。

次のページ46-2、議案説明でございます。農用地の災害復旧について。平成26年9月9日から10日にかけて発生した局地的豪雨（最大24時間雨量253mm）の影響により町内河川が氾濫し、農用地に土砂が堆積する被害を受けた被災箇所（石山地区及び竹浦地区）の災害復旧を早急に施行するため、土地改良法第96条の4第1項において準用する同法第88条第1項の規定により議会の議決を求めるものでございます。

以上ご説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（山本浩平君） 提案の説明が終わりました。

これより本案に対する質疑を許します。質疑があります方どうぞ。

13番、前田博之議員。

○13番（前田博之君） 3点ほど伺います。まず、差し支えなければこの1から6までの土地所有者、農業者の名前をお聞かせください。それと、これ以外に、以前も災害の報告がありますから、これに採択されない、つかった部分の被災箇所があるのとどうかということです。もし、採択されない被災箇所があれば、採択されたのと採択されない基準がどういう形で整理されたのかということと、被災箇所について、もし農業の方の名前を言って差し支えなければ教えていただきたい。私もいろいろ、なぜ採択されるか、されないかと農家の方からきていますので、その辺の基準を整理してほしいなと思います。

○議長（山本浩平君） 石井産業経済課長。

○産業経済課長（石井和彦君） いまのご質問でございますけれども、災害復旧につきましては6カ所ございます。まず、①のところでございますけれども、こちらにつきましては石山2地区でございますが、中村牧場さんでございます。それから②の石山3地区でございますけれども、こちらにつきましては阿部牧場さんでございます。それから③石山4地区でございますけれどもこちらにつきましては同じく阿部牧場さんでございますが、②のほうは株式会社でございます。それから竹浦の④、⑤、⑥につきましては、竹浦1、2、3でございますけれども、こちらにつきましては、山下牧場さんでございます。3つ山下牧場さんの方の災害という形になってございます。災害の復旧の関係の基準でございますけれども、それにつきましてはヘクタール当たりの工事費等が決まっております、こちらの工事費の

金額を超えないものについては、算定した段階で金額に達しないということで、災害の復旧の対象にならないという状況になってございます。対象外につきましては、数カ所対象にならない方がおります。現地等の調査をいたしましたけども先ほど申しましたとおり、災害の復旧の対象のところまでの金額ならなかったというのが現状でございます。

○議長（山本浩平君） 13番、前田博之議員。

○13番（前田博之君） 採択外の方は基準外ですね。その人は、ここでいう河川氾濫して土砂が堆積した部分の取り除きはしなくてもいいのか、あるいは、しなければやはり牧草の育ちが悪いのでそれは自己負担になるのか。あるいはそれは、農業振興の中で町のほうの単独の災害で見ていたのかどうか、そのあたりどうでしょうか。

○議長（山本浩平君） 石井産業経済課長。

○産業経済課長（石井和彦君） ただいまのご質問でございますけれども、基本的に土砂の堆積の分を取り除かなくても、特に大きな問題ないかなというふうに判断をしております。災害の復旧につきましては町のほうの単独事業というのがございませぬので、基本的に農地の改良等の事業の中で、農業開発公社の事業も2分の1補助というのがございませぬので、その中で進めていくというような形になると思います。それと、補助事業等を使わないで自力で農業者が改良するというような形になってございます。

○議長（山本浩平君） ほか、質疑ございませぬか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませぬか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） 討論なしと認めます。

これを もって討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第46号 農用地の災害復旧について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

〔挙手全員〕

○議長（山本浩平君） 全員賛成。

よって、議案第46号は原案のとおり可決されました。